

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	R元	R2		
北海道	沼田町	沼田町山村活性化協議会	●	●	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である辻 則行氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

辻 則行

【意見聴取の概要】

町内最大規模の農業法人が連携し地域農産物に付加価値を与える新たな取組に意欲的に挑戦している点を高く評価する。
販売額は低調であったが要因を把握しており、新型コロナウイルスの影響がありながらも計画された取組は概ね実施され、商品開発や販路開拓に一定の成果をあげている。今後は課題を改善しながら継続して事業を推進し、3か年事業の中で人材育成や開発・販売の成果を上げ、6次産業化による経営の安定化と冬場の雇用確保の先進事例となり地域の活動にフィードバックされることを期待する。